

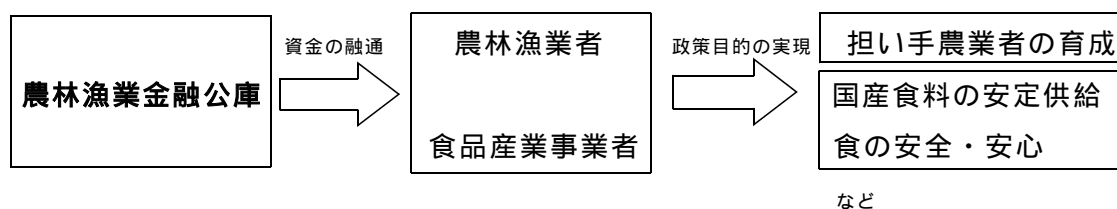
農林漁業金融公庫補給金（継続）

- 担い手向け制度資金の円滑な融通 -

【平成19年度概算決定額：41,928(41,928)百万円】

対策のポイント

農林漁業金融公庫に対し、政策と一体となった長期・低利資金の融通に伴って生ずる調達金利・貸付金利の金利差等を内容とする補給金を交付することにより、担い手農業者の育成・確保等の実現を図ります。



政策目標

担い手の育成・確保

| <平成17年> | | <農業構造の展望（平成27年）> | |
|---------|------|------------------|---------|
| 認定農業者 | 約20万 | 効率的かつ安定的な家族農業経営 | 33万～37万 |
| 集落営農 | 約1万 | 効率的かつ安定的な集落営農経営 | 2万～4万 |

<内容>

農林漁業の特性 長期・低利資金の融通が必要

農林漁業の特性

- ・長い生産サイクル
- ・自然災害や疾病（BSE、鳥インフルエンザ等）の影響が大
- ・収益性が低く、個人経営のわりに大きな資本整備

[担当課：経営局金融調整課（03-3501-3726（直））]